

夢の実現

Dreams Come True

新学習指導要領では

豊かな言語活動と「思考力・判断力・表現力」を伸ばすことが求められています。それとともに、高校入試でも思考力や表現力を問われる問題が増えています。そこで、本校では「学びあい」学習を取り入れて、生徒みなさんの「思考力・判断力・表現力」を伸ばし、一人ひとりの夢の実現を応援します。



「学びあい」学習とは？



少人数グループ（4人組）を活用して授業を進めます

- ★ 一人で学ぶより、みんなで学ぶともっと楽しい。
- ★ 一人では分からない答えも、なかまと考えればきっと見つかる。
- ★ 考えを伝えたり、なかまの意見を聞くと、考えがぐんと深まる。

あなたが主役になり、**確実な基礎学力**と**幅広い応用力**を身につける授業。それがグループの仲間とともに課題を解決しながら学んでいく「学びあい」学習です。

「学びあい」学習 ふたつの課題

～1時間の授業で取り組む課題です～

共有

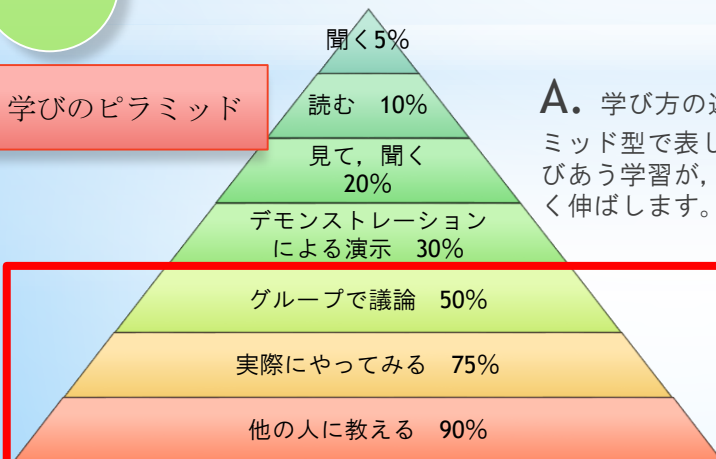
全ての生徒に確実に身につけてほしい基礎・基本の課題です。グループで学びあいながら、確実に定着することを目指します。

ジャンプ

教科書を飛び出すこともあります。より難易度の高い課題をグループで考えて解決することで、基礎・基本を振り返り、応用力や実践力を養います。

* Q. 本当に**学びあい**で**学力**が付きますか？

学びのピラミッド



A. 学び方の違いによる知識の定着度をピラミッド型で表したものです。仲間とともに学びあう学習が、あなたの学力と可能性を大きく伸ばします。

赤い枠の部分が
「**学びあい**」学習だよ。
全国3000校以上の小中高
の授業で取り入れられてい
るんだ！



南海中イメージ
キャラクター
「海龍くん」

ひとりだつて見捨てない

* ～自らの生命を守り、地域を救う～ NSP Nankai Survival Project

いのち
生命の教育



海上保安庁との水難訓練

総合的な学習の時間（絆タイム）を活用し、来る南海大地震に備えて災害に強い地域を実現するために『地域の防災リーダーを育てる』ことを目指して、積極的な防災学習を推進します。1学期には、警察・海上保安庁・陸上自衛隊・消防局・自主防災組織などの協力を得て「防災フェア」を実施し、地域の方々と協同して生命を守る体験学習を推し進めます。

防災フェア体験学習例（平成24年度実績）

救急救命法 AED講習 水難訓練 防災倉庫備品展示

緊急時救助機材展示 地震・津波災害パネル展示 炊き出し実習

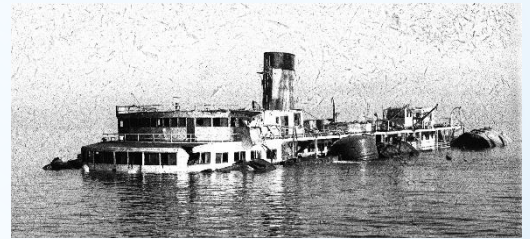
非常食試食 防災講演会 など

* 紫雲丸遭難事故学習資料展示室 『吾子たちの部屋』

1955（昭和30）年5月11日午前6時56分。瀬戸内海の女木島沖で起こった宇高連絡船紫雲丸と第3宇高丸の衝突事故。この事故の犠牲者となった紫雲丸乗客168名のうちに本校の修学旅行生28名が含まれていました。

わたしたちは、この遭難事故を風化させることなく、「奪われし 吾子たちの命を 未来につなぐ」ためにも、遺族の方々の協力のもと紫雲丸遭難事故学習資料室を設置し、生命の教育の大切な柱として過去の教訓から学んでいます。

～過去の教訓を忘れない～



引き揚げられた紫雲丸の船体（読売新聞社提供）



紫雲丸遭難事故資料室入口



紫雲丸遭難事故資料室全景

資料室を見学希望の場合は、南海中学校までお問い合わせください。

伝統と継承

～「教科書無償運動発祥の地」の誇りを胸に～



（高知新聞社提供）

義務教育において教科書が無償で配られることになったのは、多くの先人たちの粘り強い運動があったからです。その中心的な運動を推し進めた本校区の長浜地区は、「教科書無償運動発祥の地」と言われるようになりました。

その懸命の運動から学び、故郷やその歴史に誇りをもてる生徒を育成しようと「教科書無償運動常設パネル展示室」の開設とともに、先人の思いを次世代につなぐ教育に取り組んでいます。